

高等養護生 飛躍の秋 新篠津

スポーツ・技能・演劇全道、全国で好成績

【新篠津】新篠津高等養護学校(日向正明校長)の生徒たちがスポーツや技能、演劇の大会で次々と好成績を挙げている。24日には全国大会などで活躍した生徒6人が村役場を訪れ、石塚隆村長に成績を報告した。

福井県で13日から3日間開かれた第18回全国障害者スポーツ大会には3人が出場。麻薬科2年の立田智也さん(17)は、サッカー北海道・東北ブロック代表チームのディフェンダーとして大会に臨み、準優勝に貢献した。「もう少しで優勝だったので悔しい。来年こそ優勝するため、今から準備したい」と気持ちを新たにしている。

家庭科3年の渡辺勇心さん(17)は得意の陸上1500メートルで、自己ベストを更新する4分14秒を記録し、銀メダルに輝いた。「いつになく集中できていたし、会場の声援も力になった」と振り返る。

産科3年の吉田直斗さん(18)は陸上200メートルで25秒68の好タイム、銅メダルを獲得し「楽しかった。また全国大



石塚村長(右端)に大会結果を報告する、左から渡辺さん、吉田さん、佐藤さん、立田さん、加藤さん、青木さん

会出場が楽しみ」と笑顔を見せた。

札幌で13日に開かれた障害者の技能大会「アヒリンピック北海道大会」(道なご主催)の木下部門では、木工科2年の青木誠吾さん(16)が最高賞の金賞を受賞した。競技は、のこぎりやかんなを使って木箱を作るもので、青木さんは夏休みなどに毎日3時間練習し、人生初の金メダルを手にした。

来年秋の全国大会(愛知県)の出場権を得た青木さんは「全国大会までにもっと技能を改善したい」と、さらなる意欲を燃やす。

一方、同校演劇部は、9月から10月にかけて行われた高文連の全道高等学校演劇発表大会石狩支部予選で最優秀賞を受賞。11月16、18日に札幌で開催される本大会に出場する。部長の加藤政人さん(19)「クリーニング科3年」と副部長の佐藤佑花さん(18)「生活家庭科3年」は「予選よりも良い演技を見せたい」と張り切っている。

大会結果を聞いた石塚村長は「全道、全国で活躍するのはすごいこと。これからの活躍が楽しみ」とたたえた。

(岡田優樹)